



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2020



Bulletin
2020.1.1発行
第34巻第7号通巻409号

主
題

国際会長 はい、私たちは変えることができる “Yes we can change”
アジア会長 アクション “Action”
西日本区理事 風となれ、ひかりとなれ ころろ豊かにあるために 輝くために
京都部部长 限界を超える “Y's Power? No limit!”

聖
句

新しい歌を主に向かって歌え。全地よ、主に向かって歌え。
主に向かって歌い、御名をたたえよ。 日から日へ、御救いの良い知らせを告げよ。
詩編 96篇 1節～2節



「上半期を終えて」

第34代会長 小野 敏明

新年あけましておめでとうございます。メンバーの皆様におかれましては、ご家族の皆様と健やかな新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。今期は「守るために変えてゆこう少しづつ」との主題を掲げ、数年先を見つめた変革の狼煙を上げ、また、自らが主体性をもって積極的に参画する事をひとつの目標として始まった今期も上半期が終了。

迫り来る事業やイベントにもメンバー全員でしっかりと向き合えたのではと思う。恒例のサバエ開設ワークでキックオフ。参加メンバー全員が力を合わせて濃密なワーク。毎年の事ではあるが、屋外で共にアセして結果を得た経験はその後のメンバーシップにとって大きな礎になった。

前半の主な活動としては、有志による青い空と白い雲のキャンプへの支援、サバエ秋祭りへの屋台出店、リトリートセンターオータムフェスタへの屋台出店やプリンスクラブ主催のファミリーキャンプの実施、支援先である子供シェルターののさん応援のチャリティーゴルフコンペの開催など逼迫する予算をマンパワーで補い実り有る活動ができた。

この様な屋外でのインフォーマルな活動はメンバーシップの開発では欠かせない要素であり、今後も積極的に企画運営ができればと考える。ファンド事業では各クラブに応援して頂き、恒例となりつつあるスイカファンドや、ぶどうファンド、年越しそばファンド、ジャガイモファンド一辺倒を打破するべく、色々なファンドを実施。また、念願であったプリンスクラブのオリジナルデザインが施された名刺ファンドを実施して頂いた。

今期クラブ運営方針としては基本【月2回のホテルでの例会】を軸にしっかりと据え、ホテルでの例会はフォーマルな例会とする。また、大変貴重なメンバーひとりひとりの時間を無駄なく効率的に有効活用し、狙った成果が得られるようなクラブ運営を目指すために年数回、フレンドシップ例会(委員会例会)を設けてメンバー間の意見交換及び情報伝達に軸を置いた例会を企画。

挑戦なくして好機なし。親しき仲にも礼節を重んじる親睦を開発し、その親睦エネルギーを奉仕に変える事を目標に下半期も挑戦してゆく所存です。メンバーの皆様、下半期もスタスタあるとは思いますが、どうぞお付き合いのほど宜しくお願い申し上げ新年の挨拶と替えさせていただきます。

会長主題

**守るために
変えてゆこう
少しづつ**

会長	小野 敏明
副会長	廣井 武司
	今西 英隆
書記	岸 裕也
会計	飯尾 豊
ネット会長	小野 瑞穂

強請月間

IBC・DBC

1月 例会案内

8日(水) 新年例会
今年の新年例会は、プリンスホテルで開催です。皆さんの新年の抱負を語り合いたい。
22日(水) 半期総会
前期の活動を踏まえて、残る半期を有意義に活動できるように議論。

例会出席

12月第一	13名
12月第二	14名
在籍者数	16名
メーキャップ	0名
出席率	93.8%

BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	0円

ファンド

	0円
	0円
累計	161,050円

ニコニコ

12月第一例会	6,000円
12月第二例会	0円
累計	31,500円

12月第一例会

2019/12/4
西村 博

“紅葉が進み減法寒くなりましたね！”との会長挨拶で始まった今期第4回目となるフレンドシップ例会。先ず会長から先日行われた“ののさんチャリティーゴルフ”の報告がありました。プリンスクラブの柱の事業になって来た感があり、これからも楽しい例会作りに邁進するとのお話でした。

宇高委員長からクリスマス寄付のお願いがありクラブから30,000円贈呈するとの報告がありました。榎木ワイズから、“ののさんチャリティーゴルフ”に29名の参加があり市立病院研修会の寄付金と合わせて69,000円をののさんの方へお渡しする予定とのことでした。藤尾連絡主事からYMCAからの報告としてYMCA三条本館にクリスマスの飾りをしましたので皆様見に来てくださいとのことでした。また宇高ワイズが内閣府及び京都府青少年健全功労者等知事表彰を受けられたとの嬉しい報告がありました。プリンスクラブとしても永年聴覚障害児プログラム研究会マイマイを支援してきています。

次に本日のメインの35周年について皆で考えていきたいと思いますという本題に入りました。岡西ドライバー委員長が欠席の為、三村副会長の司会の下、今までの周年例会を振り返りながら、三村副会長の思い出等これまでの経緯の説明があり35周年をどのようにしていこうかと、ざっくばらんに話を進めることになりました。岸ワイズの意見では、メンバーファミリー皆で旅行に行くのもいいのではないかと。又、澤田ワイズは、家族がみんな集まっていますとコメントも多く参加できる例会が望ましいのではとの意見。

長老であり初代会長の廣井ワイズからは、最近元プリンスのメンバーであり元京滋部部長をされた早崎元ワイズと偶然会う機会があったが、そうした機会にこれまで時を重ね色々経験したことを思い出し、ワイズとしての自覚を再認識することも大切で、それらの上に立って、これからの活動を考え如何に新しいメンバーが入会しやすい雰囲気を作るかを考えることが重要だとの思いが語られました。35周年、今期EMC/国際・交流事業委員長の私は、35周年にはプリンスクラブの京都部に於いての存在感を示すうえでも大きなイベントやパーティーも必要ではないかと思っています。35周年の時にDBC締結、メンバー増強最低でも10人以上の獲得が出来ればとも思っています。しかしながら今期半分が過ぎようとしてますが、一人の新しいメンバーも獲得できてない状態です。私の力のなさを痛切に感じています。残り半期楽しく集まれる機会を多く持ちメンバー獲得に邁進することが私の責務だと考えている次第です。皆様も是非ご協力をお願い致します。



12月第二例会 クリスマス例会

2019/12/22
今西 英隆

2019年クリスマス例会も昨年度に引き続き、メンバーファミリーやゲストを交えての約40人の参加者で盛大に実施されました。今年が目玉は、何と言ってもA～Dの4グループに分かれての『グループ対抗室内運動会』という事で、ゴルフパット対決、紙飛行機飛ばし、手押し相撲、風船ラグビー等の競技を楽しみました。

普段のワイズメンズクラブの活動で感じている『世代や性別が違うメンバー達の壁の無い交流』が、このクリスマス例会では更に拡大し、子供から大人まで競技参加者の年齢差は最大70歳という中で、ハンディ無しのガチバトルが繰り広げられました。また、その結果も岡西ドライバー委員長の絶妙な配点?!のおかげで接戦に終わり、終始ハラハラドキドキのチーム対抗戦となりました。

今年は、今西家は次男の侖のみの参加でしたが、本人も今までで一番楽しかったということで、毎年、ドライバー委員長が中心に考えて頂くクリスマス例会は、今年も参加している子供達やゲストが楽しめる、とても楽しく温かい会になったのではと思います。

2020年度は、東京オリンピックで盛り上がる年でもあり、ワイズメンバーやゲストの交流を出来る運動会等を企画しても面白いかな?!と思いました。

ののさん応援チャリティーコンペも第4回を迎えました。今回も2回目以降お世話になっている、「メイプルヒルズゴルフクラブ」さんで開催しました。前回までは実行委員会形式でやっておりましたが、クラブ例会で議論を重ね、クラブ事業として取り組むことになりました。

さて、当日は前々日までの雨の天気予報を見事覆し、11月の終わりとは思えないほどの気温と晴天に恵まれました。半袖でプレーする人もいたほど。某クラブのT氏曰く「自分が来たからだ」と。そういえば、T氏が参加する時は天気がいいような。参加人数は合計8組29人。毎回参加の人も、初めて参加の人も。今回は女性も5人参加。スコアは悲喜こもごも。調子がいい人も、やっぱりいつもと同じの人も、なんだか調子が出ずに終わった人も。でも皆さん楽しそうでした。ニアピンは熾烈な争いでしたが、女性も健闘しました。

表彰式は会長の挨拶の後、コンペの主旨説明。「NPO法人ののさん」から頂いた、スタッフ研修案内チラシの説明もさせていただきました。ののさんが運営する子どもシェルター「はるの家」は、行き場がない子ども(女子)たちの逃げ場です。虐待をうけて傷ついた子どもたち、生きづらさをかかえた子どもたちに接するには、マインドだけでなく、知識や心がまえが必要となり、スタッフとしてかかわるには、研修を受けることが必須です。こういう場からも活動が広がることを期待します。

このコンペに先立ち、9月に京都市立病院で実施した虐待研修の後の懇親会で、参加者に呼びかけ、チャリティーを募りました。懇親会にはののさん代表の安保先生も参加されていたので、先生からもお声かけいただきました。懇親会には、市内の小児科医や助産師、公的機関の方もたくさん参加されており、ワイズメンズクラブの紹介も少しさせていただきました。

チャリティーは、コンペ当日は42,000円、虐待研修の後の懇親会で有志の方々からいただいた27,509円と合わせて、69,509円集まりました。本当にご協力ありがとうございました。2月5日の例会にののさん代表の安保先生にお越しいただき、お渡しする予定です。

このコンペを通じて、京都プリンスワイズメンズクラブの活動の核である、子ども支援、特にハンディや生きづらさをかかえた子どもたちへの支援を強化するとともに、コンペ参加をきっかけにクラブに興味をもついただき、入会につなげることができれば嬉しいです。これからもご協力よろしくお願ひします。



私が理想とする例会とは

ドライバー委員長 岡西 博司

「私たちは、月2回の例会を持っています。この例会は次の意味を持っています。ワイズ国際憲法にも謳っていますように、ワイズメンズクラブの目的はイエスキリストの教えに基づき、YMCAに対する忠誠心を共にしつつ活潑な奉仕活動を通じて、全人類の為により良き世界を築くべく尽力するものであり、と言う精神性の高いものを目的としています。依って、月2回の例会は精神性の非常に高いものを目指すが為の訓練の機会であります。そして、ワイズメンとしての自己研鑽の場であり、又、意気高場の機会でもあります。メンバーの皆様はこの事を意識して例会に臨んで頂きたいと思ひます。」この言葉は、京都の他のクラブでの言葉ですが、全くその通りだと思ひています。僕達のクラブでの例会は、どうでしょうか？ 皆様はどの様に思ひて例会に参加していただひているのでしょうか？

今季半期が済みました。京都部会、京都部部長公式訪問、ワイズデー、サバ工開設ワーク、フレンドシップ例会等々。なんだか公の事業に振り回されている

様な感じが拭えません。自分達が本当に上に掲げた様な意識を持って、真剣に考えて、オリジナル性を持った例会ができていない様な感じがしてなりません。皆様に本当に申し訳無いと思ひます。

僕がワイズに入った頃、例会に来るのが楽しみだった頃がありました。それは、例会に行けば、あの方々に逢える。しばらく会ってないが皆さんどうされているかな？ そんな楽しみがありました。勿論、例会が終わってから、何処かに行ったものでした。そこでは、口に泡を飛ばして、ワイズの事なんかを真剣に話し合っただけです。例会の内容はどうだったかな？ あんまり記憶にありません。それでも良いと思ひます。

あと半期、自分のできる事を精一杯努めてみたいと思ひています。自己研鑽の場としての例会、交流の場としての例会、アフター例会、等々。もう一度基本に戻っての例会を考え、実行したいと思ひています。どうぞ、皆様と共に素敵な例会を作り上げていくことが出来ます様に、応援お願ひ致します。



<当社概要>祖父が大正13年に独立して現在地で開業したのが始まりです。親方が建具塗師屋(ぬしや:襖等の建築関係の漆塗り職人)であった為に、競合を避けるためにそれ以外の神祭具等の漆塗りを手がけました。父の時代に木工も機械を導入して製作し、後に銑金物職人と連携して一括生産・受注をするようになりました。小は神社にある神祭具(金幣、雪洞、鉾、旗棒台等)から大は神輿(子供から大人用)の修理・新調を手がけます。通常は販売業者向けが主ですがご紹介等により神社・神社総代さんのご用命も受け賜っております。具体例としては大坂天神祭に出されている御鳳賛・御文庫車の修理を管理されている講から受注しました。

<ワイズ>森伸二郎ワイズのご紹介で前回の小野会長期に入会させて頂きました。その誘い文句が、「その年令になったら社会に多少でもお返しをしませんか?」と言われ納得しました。実際にはどんな活動かはよく判らないまま入会しましたが、楽しくお付き合いを頂き今に至りました。

入会したての行事がファミリーキャンプで赤目四十八瀧めぐりを夫婦で参加しました。その思い出は男子露天風呂での写真をフェイスブックにメンバーがアップロードしたところ、すぐに管理者により削除されたことです。危ないところが少し写って居たようです。

そして蒔田会長期の次期会長予定者に決まった後の2月に下咽頭癌が見つかり、入院し4月に切除手術を受けることになり会長予定を辞退せざるを得ませんでした。そのため蒔田会長が2期連続会長を決断されまして、大変ご迷惑をおかけした次第です。

<病後>4月に無事手術を終え5月中旬に退院して放射線・化学療法に移る際にリンパ腺に再発が見つかり、化学療法抗癌剤のみに変更されました。そのときに医者からは余命をどれだけ延ばせるかと言われました。毎週1回抗癌剤点滴に半日かけて通い、6月のペット検査で癌が見つからない結果が出ました。担当医が首を傾げる結果で3年8ヶ月です。

今は普通の生活ですが、手術の際右鎖骨を切断したのが完全に繋がらず動いてるので重い物の移動が困難です。良いことは多少我慢強く物事に対処出来るようになった事、所詮人生なるようにしかならないと思える事です。年末年始は昨年に続き東山荘の家族パーティーに夫婦で参加するのが楽しみです。

1. クリスマス献金

クリスマス献金は「奉仕活動基金」として役立てられます。京都YMCAの活動をさらに充実させるため皆様の暖かい心をお届けください。1月中受付いたします。
①窓口にて:「クリスマス献金袋」に入れてお持ちください。
②振込にて: <郵便振替> 口座番号 01050-7-19132 「京都YMCA奉仕活動基金」

2. 第17回 発達障がい児理解セミナー

特性が気になる子の成長と関わり
様々な発達の特性をもつ子どもたちの心と身体についてどのようにとらえ、どのように支えるかについて、理解を深めます。

日時: 2月15日(土) 9:30~12:00(9:15開場)

場所: 京都YMCA

参加費: 1,500円(お支払いは当日) 定員: 60名

講師: 精神科医 定本ゆきこ先生

お申込み: お名前、お電話番号をお書きいただき、メールまたはFAXにてお申し込みください。

(Mail) support@kyotoymca.org / (FAX) 075-255-2087

お問合せ: 京都YMCAウエルネスセンター 075-255-4709

3. スキーキャンプ・ウインタープログラム 申込受付中

申込み・問合せ: 京都YMCAウエルネスセンター

TEL 075-255-4709

WEB申込 <https://e-ymca.appspot.com/kyoto/index>



編集後記

令和になって初めて迎える新しい年。何となく世界の地図が、塗り替わっていく時代の始まりの様に思える。GDP1位は中国に。IBM、マイクロソフトに代わってGAFAが台頭。AIがモビリティを先導して、ビッグデータに人が従う。世界の力関係が、塗り替えられようとしている。不安と期待が入り混じる。

12月度 役員会報告

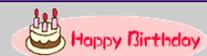
承認された事項

- 各事業委員会上半期の報告及び上半期の決算報告を半期総会の議案とする件
- 新年例会登録費メン: 3000円
メネット: 8000円 飲み放題: 1000円
- 3月第二例会日を3月17日(火)とする件
- 4月第二例会を富士山YMCA一泊とする

1月 スケジュール

- 6日(水) 第一例会 新年例会
19:00 グランドプリンスホテル
- 22日(日) 第二例会 半期総会
19:00 グランドプリンスホテル
- 26日(水) 役員会
19:30 廣井事務所

1月



- 15日 今西 英隆
- 19日 森 伸二郎
- 22日 宇高 史昭